

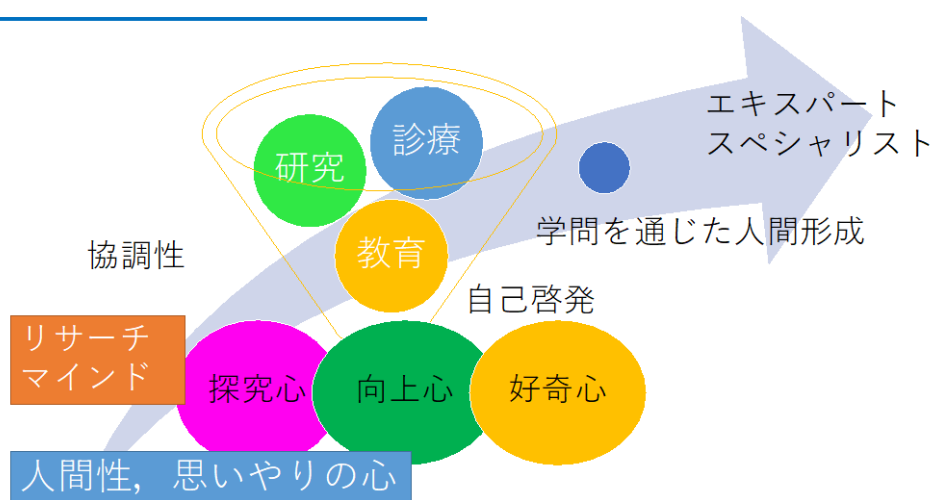
研修希望の先生へ

当教室の体制

診療・研究・教育体制

臨床を行いながら、日々学び、ステップアップしていけるよう若手の先生のサポートを行います。現在3つの臨床グループに分かれていますので週1回それぞれのグループカンファレンスのほか、全体のカンファレンスを教授回診時に週1回行います。診断のつかない、または治療の難しい難治症例などは、チームで取り組み共に課題に取り組む姿勢で臨みます。医局会では抄読会、症例検討会や勉強会を通して最新知識のブラッシュアップを行っていきます。当科では common diseases から希少な神経変性疾患まで様々な疾患を経験できます。系統的神経診察の実践と最新知識から良質な医療を提供できる専門医を育成します。さらに当科では総合内科専門医や神経内科専門医のみならず脳卒中や頭痛専門医などのサブスペシャリティ専門医資格も取得可能な環境にあります。大学院では臨床研究からの博士号取得にも適した環境にあり、臨床の疑問を研究し、基礎研究の知見を臨床に生かす研究医の育成にも力を入れていきます。今後医療分野では人工知能(AI)の導入により、様々な検査や画像読影などの効率化がはかられ、医療技術の向上が期待されています。一方、脳神経内科では打鍵器「ハンマー」を用いた古典的な系統的神経診察を重視しています。病歴聴取後に、患者さんの局在徴候を神経診察で見出し、神経系の障害部位を推定し、検査プランを立て鑑別診断を絞っていくという診療を連日行っています。この神経診察から考える一連の流れは、エキスパート育成にも必須であります。

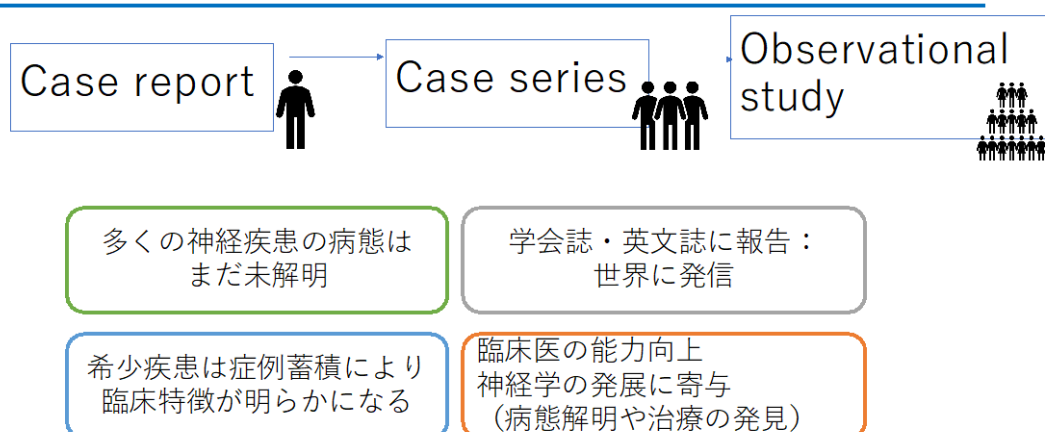
診療，研究，教育，キャリアプラン



症例報告

当教室では個々の症例を大切に、学会での症例発表や症例報告を推奨・サポートしています。

症例報告はなぜ重要？



研修希望の先生へ

当教室では、患者さんだけでなく我々医療従事者の QOL も重視していきます。そのためには今後の働き方改革にむけて、無駄な時間を省きチーム医療により、仕事を効率よく行いたいと思います。最初からエキスパート・スペシャリストはいません。医師として必要な心（気力）技（スキル）体（体力）を一緒に磨き、千里の道の一步目から共に歩いていきましょう。当科へ少しでも興味のある先生方がいましたら、「思い立ったが吉日」是非ご連絡・相談ください。個人にあったやり方で臨床研究、症例報告や研究論文作成を全力でサポートします。皆で楽しく学びながら働ける雰囲気の医局運営を目指していきます。医局員一同お待ちしております。